

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社 (社名) -、除外 -社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	2,851,000株	2025年3月期	2,849,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	90,366株	2025年3月期	68,066株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	2,762,291株	2025年3月期3Q	2,795,559株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用情勢や所得環境の改善、インバウンド需要により緩やかな回復基調にあった一方で、依然として続くウクライナや中東の情勢不安や世界的な原材料及びエネルギー価格の高騰や物価上昇により、先行きの不透明な状況で推移しました。

このような事業環境の中、当社はダイレクトマーケティング実施企業に対して、マーケティングの各局面において最適なソリューションを提供するべく努めてまいりました。また、積極的な人材採用を行い、営業力及び提供サービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は17,541,048千円（前年同期比13.5%増）、営業利益は520,014千円（前年同期比14.4%増）、経常利益は534,486千円（前年同期比16.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は354,518千円（前年同期比17.3%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

i) ダイレクトメール事業

ダイレクトメール事業におきましては、充実した営業体制を基盤に、企画制作からデザイン、印刷、封入・封緘作業を一括して手がけるワンストップサービスの提供、郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開いたしました。また、発送代行サービスのオンライン受注や見込顧客別のマーケティング施策を強化することで、販路の拡大を図るとともに、従業員による対面業務を削減することで業務効率及び生産性の向上に努めました。EC通販市場の拡大に伴い需要が増加している宅配便等の小口貨物を取扱うフルフィルメントサービスについては、6月の八王子第6フルフィルメントセンターの開設等の先行投資を行い、サービス提供体制の強化に努めました。

この結果、新規顧客の開拓及び既存顧客からの受注が堅調に推移し、売上高は15,699,817千円（前年同期比15.9%増）、セグメント利益は933,220千円（前年同期比28.2%増）となりました。

ii) インターネット事業

インターネット事業におきましては、コンサルティング型マーケティングサービスの提供を強化するとともに、これまで培ったWebサイトのコンテンツ制作ノウハウを活かしたパーティカルメディアサービス（注）にも引き続き注力いたしました。また、これまでのノウハウを活かしたSNS関連サービスの強化も行っております。

この結果、売上高は794,678千円（前年同期比12.2%減）、セグメント利益は96,066千円（前年同期比46.8%減）となりました。

（注）パーティカルメディアサービスとは、特定の分野に特化した自社Webサイトの運営を通じて、利用者へ有益な情報や各種サービスを提供するサービスです。

iii) アパレル事業

アパレル事業におきましては、子会社である株式会社ピアトランスポート（以下、ピアトランスポート）の販売体制の整備充実を図るとともに別注商品の企画にも注力しました。また、引き続き為替やインフレ等の外部環境の影響を受けました。

この結果、売上高は1,046,552千円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は49,297千円（前年同期比23.3%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は8,299,733千円となり前連結会計年度末に比べ、110,345千円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加411,657千円及び投資その他の資産その他の増加98,873千円があった一方で、現金及び預金の減少397,009千円があったことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は4,751,048千円となり前連結会計年度末に比べ、90,722千円減少しました。これは主に、買掛金の増加159,516千円及び流動負債その他の増加167,894千円があった一方で、長期借入金の減少301,488千円、賞与引当金の減少60,459千円及び未払法人税等の減少50,789千円があったことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は3,548,685千円となり前連結会計年度末に比べ、201,067千円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加249,147千円があったことに対して、自己株式の増加31,693千円があったことによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,361,152	964,143
受取手形及び売掛金	2,401,453	2,813,110
棚卸資産	361,083	366,657
その他	219,254	258,729
貸倒引当金	△1,558	△2,321
流動資産合計	4,341,384	4,400,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	887,530	925,006
土地	1,584,384	1,584,384
その他(純額)	769,043	678,340
有形固定資産合計	3,240,958	3,187,731
無形固定資産		
のれん	142,706	124,868
その他	51,950	76,315
無形固定資産合計	194,656	201,183
投資その他の資産		
その他	415,238	514,112
貸倒引当金	△2,850	△3,611
投資その他の資産合計	412,388	510,500
固定資産合計	3,848,003	3,899,414
資産合計	8,189,387	8,299,733
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,773,307	1,932,824
1年内返済予定の長期借入金	422,970	409,920
未払法人税等	140,061	89,272
賞与引当金	132,480	72,021
その他	472,458	640,352
流動負債合計	2,941,278	3,144,391
固定負債		
長期借入金	1,886,580	1,585,092
その他	13,912	21,565
固定負債合計	1,900,492	1,606,657
負債合計	4,841,770	4,751,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	376,677	378,425
資本剰余金	302,844	304,592
利益剰余金	2,708,847	2,957,994
自己株式	△90,270	△121,963
株主資本合計	3,298,097	3,519,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△18,850
その他の包括利益累計額合計	—	△18,850
新株予約権	49,520	48,487
純資産合計	3,347,617	3,548,685
負債純資産合計	8,189,387	8,299,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	15,454,754	17,541,048
売上原価	12,999,460	14,817,545
売上総利益	2,455,293	2,723,502
販売費及び一般管理費	2,000,539	2,203,488
営業利益	454,754	520,014
営業外収益		
受取利息	90	1,048
受取配当金	14	13
持分法による投資利益	10,878	16,192
助成金収入	2,146	928
為替差益	59	4,857
その他	3,732	6,332
営業外収益合計	16,922	29,372
営業外費用		
支払利息	13,715	14,195
支払手数料	12	549
その他	109	155
営業外費用合計	13,837	14,900
経常利益	457,839	534,486
特別損失		
固定資産除却損	—	3,773
税金等調整前四半期純利益	457,839	530,713
法人税、住民税及び事業税	155,623	176,194
四半期純利益	302,216	354,518
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	302,216	354,518

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	302,216	354,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△18,850
その他の包括利益合計	—	△18,850
四半期包括利益	302,216	335,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	302,216	335,668
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	149,128千円	230,897千円
のれんの償却額	17,838	17,838

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ダイレクトメ ール事業	インターネッ ト事業	アパレル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,548,168	905,289	1,001,296	15,454,754	—	15,454,754
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,997	—	354	8,352	△8,352	—
計	13,556,166	905,289	1,001,651	15,463,106	△8,352	15,454,754
セグメント利益	727,992	180,479	39,988	948,460	△493,705	454,754

(注) 1. セグメント利益の調整額△493,705千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ダイレクトメ ール事業	インターネッ ト事業	アパレル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,699,817	794,678	1,046,552	17,541,048	—	17,541,048
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,125	—	3,664	6,790	△6,790	—
計	15,702,943	794,678	1,050,217	17,547,838	△6,790	17,541,048
セグメント利益	933,220	96,066	49,297	1,078,585	△558,570	520,014

(注) 1. セグメント利益の調整額△558,570千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。